



皆様とともに歩む中友会でありたい

中友会副会長 高橋 忠雄

私は令和五年度の中友会の総会において副会長候補として推挙され承認していただきました高橋忠雄です。よろしくお願いいたします。

本会は各種の活動を行っていますが、会員の方や現職の校長先生方は、本会の存在や活動等どの程度ご存じでしょうか。

私が本会の存在を知ったのは東京都中学校校長会の理事になり、本会の正副会長や幹事の方々との交流があったからで、校長に就任してからはしばらくはその存在や活動について知りませんでした。

そこで、本会への理解を深め身近に感じていただきたいと思い、本会の組織や運営及び課題等についてご紹介させていただきました。また、お願いもしたいと思います。

中友会とは正式名称を「東京都公立中学校退職校長の会」と称し、会員の親睦と互助を深め、あわせて生涯学習の充実を図ることを目的として、①会報の発行、②会員名簿の編集・発行、③逝去会員の合祀慰霊祭の実施、④研修の実施、⑤懇親会・忘年会などの開催、⑥退職予定校長への入会案内、⑦その他の事業を行っている、東京都公立中学校を退職した校長で組織する会です。

右記の事業はどれも大切ですが、特に年度に分けて次の三大事業に時間を費やしています。その一は、合祀慰霊祭の実施であり、護国寺にお



中友会

[発行所]

中友会

港区西新橋1-22-13
全日本中学校長会館202号室
東京都中学校長会事務局内
TEL 03-3504-8705
FAX 03-3504-8706

会則第2条

☯ 親 睦
☯ 互 助
☯ 生涯学習

<https://chuyu-kai.org/index.html>

て、三年間の本会会員の逝去者を慰霊します。その二は、会員名簿の作成・発行です。その三は財政・活動の調整であり、とかく滞りがちな会の運営に不可欠な会費納入の働きかけの強化等です。今年度の本会の役員は、会長一名、副会長四名、会計監査二名、幹事長一名、幹事八名の十六名で構成され、会務を分担しその遂行に努めています。

会務には総務、庶務、会計、研修、広報などがあります。その中心を担っている幹事は、平成二十年代の半ばまでは退職年度ごとに六名を選出し、三年間の任期があり計一八名で構成され、三年目の幹事が責任幹事となり、その中から幹事長を選出していました。しかし、近年では校長の再任用等により幹事の選出が思うようにならず、退職年度や期限を問わずにお願いしています。

現在の幹事は親しみやすい雰囲気の中で自由に意見を出し合い、和気あいあいと活動しています。

幹事の選出については今後も課題になります。本会役員から幹事への協力依頼があった際には前向きにご検討くださるようお願いいたします。

本会事務局については、財政面で独自の事務所が設置できないため、東京都中学校長会事務局の中に本会事務局の設置をお願いしております。

そこで、本会事務局にご連絡やお問合せをされる際には、「中友会の件で」と言ってから用件をお伝えくださいますようお願いいたします。必要に応じて東京都中学校長会事務局から本会役員に連絡をいただき、対処しております。

本会の会員数は左記の通りですが、団塊の世代が退職を迎えたころから減少しており課題の一つです。

平成元年度	一、七九五名
平成十三年度	二、三六四名
平成二十二年度	一、八八五名
平成二十五年度	一、八五二名
令和五年度	一、八二九名

会員の減少については、多くの団体でも大きな課題になっております。本会は今後も会員の継続加入や増加に向けた対応に努めてまいります。

また、会の運営には会員の皆様からの会費が必要ですが、その会費の納入状況が芳しくなく対応に苦慮しているのが現状です。会費（年一人一、五〇〇円）の納入については、毎年四月末に発送される会報に同封されている会費納入票をご利用いただきお振込みくださいますよう、会員の継続加入や新規加入と併せて会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。（八十八歳以上の方は会費が免除されます。）

校長退職後も人生は長いと思います。この人生の中で、人との交流が毎日の生活に潤いと活力を与えてくれると思います。その交流ができる団体の一つに中友会をお選びいただき、本会での懇親会を含む催し物や会報などにより交流を深め、充実した生活を送っていただければと思います。

私も本会役員は今後も本会の運営に意欲的に取り組んでまいります。皆様も本会の存在と活動内容をご理解いただき、本会会員として共に歩んでいただければと願っています。

※今号から、現職の校長先生方に、かつて中友会幹事として活躍された評議員の方々からのメッセージを掲載しています。（6ページ）